

特許情報活用支援アドバイザーによる人材育成支援

特許情報活用支援アドバイザーのサポートで知財部を創設！

支援前

- 特許に対して自社単独での係わりは全く無く、他人事のような話であり、身近な存在ではなかった
- 事業の中で、作業の改善を含めた提案を自社のノウハウとして、何らかの形として残したかった

以前に訪問指導した企業の社長の紹介で支援が始まった

【当初の目標】

- ① 自社内で産業財産権の検索方法がわかる
- ② 知財活動の各段階で先行技術調査を実施することができるレベルにスキルアップを図りたい！

ADの支援

- 地元の異業種交流会のメンバーにも声を掛け、月に1回社内で特許制度に関する勉強会を開催
- 商標登録出願の指導
- 異業種交流会メンバーの特許出願の指導

支援後

- 社内に知財部を設置し、知財担当者を配置した
- 自分達の提案が特許になる可能性が出来た事で、特許自体が身近な存在となり、社員も今までと違い何か特許にならないかと考えて、仕事に取り組むようになった

アイデアの段階で、知財部の担当者に相談する事で、社内のコミュニケーションが良くなり、社員間の強固な絆の確立に期待

支援先企業担当者のコメント

森特許情報活用支援アドバイザーには、「特許情報検索のスキルアップ」をテーマに、特許情報の活用や特許電子図書館の効果的な検索方法等を熱心にわかりやすく教えていただきました。

今まで自分達とはあまり関係ないと考えていた特許というのが、森特許情報活用支援アドバイザーの御指導のお蔭で身近な存在になり、社内で「自分達の考えたものが特許になるかもしれない」と言う期待感が芽生え始めました。

支援先企業の概要

- 会社名 永家工業株式会社
- 所在地 岐阜県高山市松本町
- 代表取締役 永家雅司 ■ 設立 1963年
- ホームページ <http://www.n-story.net/>



森 秀樹(岐阜県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

支援先企業である永家工業株式会社は、日本で最も広い市町村＝岐阜県高山市にあって、地域に密着した住宅の設計・施行・販売、一般建設業、土木業全般にビジネス展開されている企業です。江戸時代以来の城下町・商家町の姿が保全されている高山市中心部近くから、人と自然の為の住まいの情報発信・提案をされています。経営者自身が知財戦略の重要性をご認識されており、知財活動を目的とした専任部署「知財部」を新たに創設されました。知財部を活用して知的財産戦略を実践していくことで、知的財産の活用による今後の成果が期待されます。

